

より強く、よりやさしく。  
進化した、畑作用除草剤。

野菜・畑作用除草剤

フィールドスター<sup>®</sup>P乳剤

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。  
●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

**BASFジャパン株式会社** 〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階  
☎ 0120-014-660 FAX 03-3796-9419 <http://www.agriculture.japan.basf.com>

15.04/03(CC) 0601-002

技術資料

®=BASF社の登録商標

## はじめに

フィールドスターP乳剤は、BASF社が開発した酸アミド系の除草成分ジメテナミドPを有効成分とする野菜・畑作用土壌処理型除草剤です。

本剤は、ノビエ、メヒシバなどの一年生イネ科雑草をはじめ、カヤツリグサ、ヒユ類、スベリヒユに対して優れた除草効果を示します。

また、土壌中で安定した処理層を形成するため、これらの雑草の発生を長期にわたり抑えます。

本剤は、公益財団法人日本植物調節剤研究協会を通じて委託試験を行い有用性が確認されて、2010年8月10日付で農薬登録されました。

本資料は、フィールドスターP乳剤の特性を理解していただくため、現在までに得られた知見に基づいて作成しました。

本剤の普及、指導のご参考になれば幸いです。

### フィールドスター乳剤とフィールドスターP乳剤の違いについて

従来のフィールドスター乳剤の成分であるジメテナミドは光学異性体であるR体とS体を等量含んでいますが、除草効果を示すのは主にS体(=ジメテナミドP)の方です。フィールドスターP乳剤はこの除草成分の主体であるジメテナミドPのみを成分として含んでおり、より少ない分量で従来品と同等の除草効果を発揮し、環境に与える負荷を軽減した製品です。なお、10aあたりの使用量も従来品のフィールドスター乳剤と異なりますので、ご使用に際してはラベルをよく読んでお使いください。

## フィールドスターP乳剤の特長

フィールドスターP乳剤は、酸アミド系の除草成分ジメテナミドPを有効成分とする野菜・畑作用土壌処理型除草剤です。

### ★ 1 イネ科雑草に優れた効果

ノビエ、メヒシバ、オヒシバ、スズメノカタビラなどの一年生イネ科雑草に高い除草効果を示します。

### ★ 2 カヤツリグサや一部広葉雑草に高い活性

カヤツリグサ、スベリヒユ、ヒユ類に高い活性を示します。

### ★ 3 長い残効性

一年生イネ科雑草に対し40日以上残効を示します。

## 作用機作

ジメテナミドPは酸アミド系の非ホルモン・吸収移行型の除草剤で、雑草の幼芽部および幼根部より吸収され、雑草の超長鎖脂肪酸の合成を阻害することにより雑草を枯死させます。

イネ科雑草の2葉期まで効果を示しますが、効果を安定させるために雑草発生前に時期を失しないように散布してください。

## 除草スペクトラム

ジメテナミドPはノビエ、メヒシバ、スズメノカタビラなどの1年生イネ科雑草をはじめ、カヤツリグサ、ヒユ類、スベリヒユなどの畑地一年生雑草に対して、発芽前処理で優れた除草効果を示します。

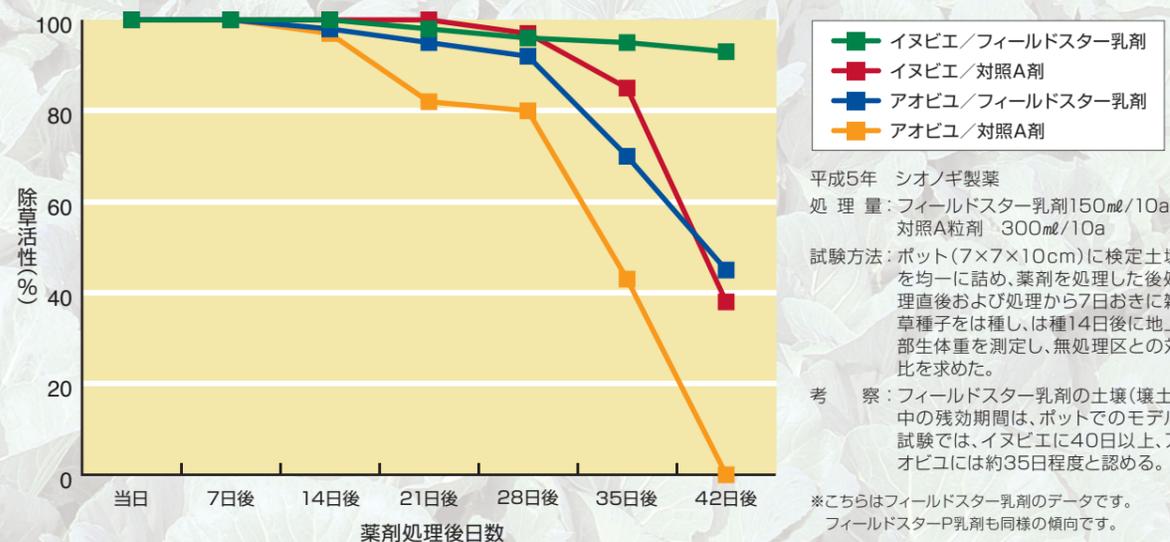
以下に各種雑草への効果を示しました。

雑草名	効果	雑草名	効果	雑草名	効果
一年生イネ科雑草	ノビエ	◎	一年生広葉雑草	カヤツリグサ	◎
	メヒシバ	◎		タデ類*	○～△
	オヒシバ	◎		ハコベ	○～△
	エノコログサ	◎		スベリヒユ	◎
	スズメノテッポウ	◎		ノボロギク	◎
	スズメノカタビラ	◎		ハキダメギク	◎～○
			タカサブロウ	○～△	
				一年生広葉雑草	
				ナズナ*	○～△
				スカシタゴボウ*	△
				オオイヌノフグリ	◎～○
				シロザ*	△～×
				イヌビユ	◎
				ツククサ	○
				イチビ	△～×

(◎:極大、○:大、△:中、×:小)

※シロザ、タデ類、アブラナ科などの一部広葉雑草には効果が劣りますので、これらの広葉雑草が多発する圃場では広葉雑草に有効な除草剤との組み合わせで使用してください。

## 土壌中の残効性



## 上手な使い方

フィールドスターP乳剤を効果的にかつ安全にご使用いただくため、下記の点に留意してください。

- 1 散布時期：雑草発生前の散布**  
雑草の発芽後では効力が劣るので、雑草発生前に処理してください。
- 2 覆土深：覆土深は2~3cm以上**  
砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はていねいにしてください。
- 3 適用土壌：砂土はさける**  
本剤は土壌中の移行性が比較的大きいので、砂土での使用はさけてください。
- 4 処理薬量：薬量は必ず守る**  
ラベルをよく読み、処理薬量を守ってお使いください。  
砂質がかった土壌や礫が多い圃場では低目の薬量で使用してください。
- 5 均一散布：希釈水量を守り均一に散布する**  
重複散布は葉害を生じるおそれがあるので、注意して散布してください。
- 6 天候に注意：散布直後の大雨**  
散布直後の多量の降雨は葉害のおそれがあるので、天候を見極めてから散布してください。

フィールドスター乳剤とフィールドスターP乳剤は使用薬量等が異なりますので、注意してください。

### ☆フィールドスター<sup>®</sup>乳剤

登録作物	使用薬量
キャベツ	75~100ml/10a
とうもろこし 飼料用とうもろこし だいず	100~150ml/10a

### フィールドスター<sup>®</sup>P乳剤

登録作物	使用薬量
キャベツ	50~75ml/10a
とうもろこし 飼料用とうもろこし だいず えだまめ たまねぎ てんさい	75~120ml/10a

切替

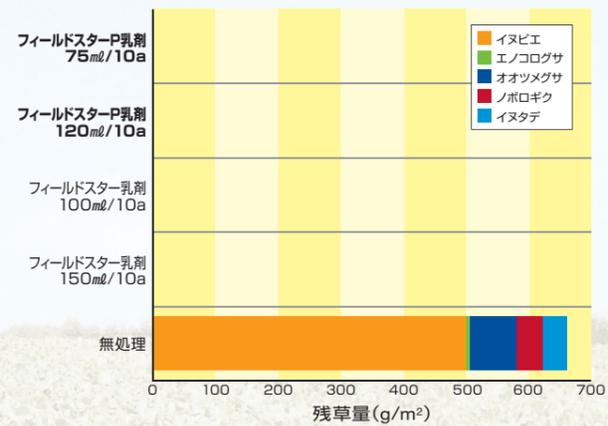
太字の作物は新たに登録になったもの

- 初めて使用する場合は、病害虫防除所等、関係機関の指導を受けてください。
- 使い残りのフィールドスター乳剤にフィールドスターP乳剤を混ぜて使用することは控えてください。

## (公財)日本植物調節剤研究協会委託試験成績(抜粋)

### ■とうもろこし

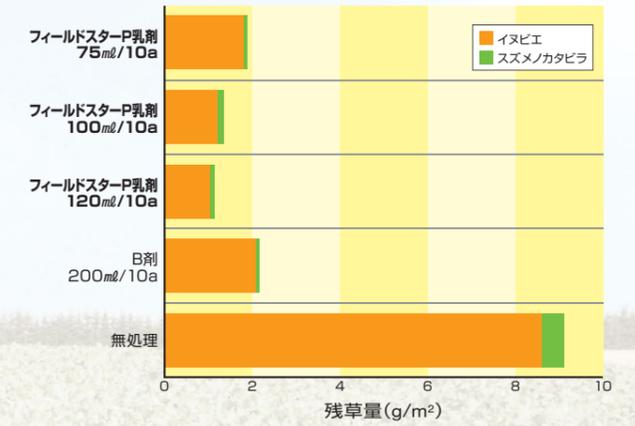
平成11年 北海道花・野菜センター



品種名:ピーター235 是種日:6月2日  
処理日:6月5日(は種3日後、雑草発生前) 調査日:7月6日(処理31日後)

### ■飼料用とうもろこし

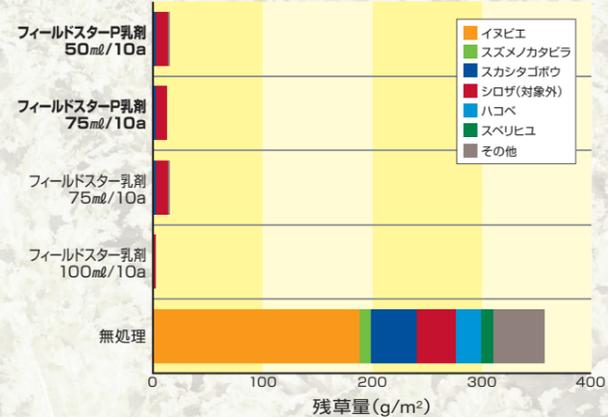
平成24年 植調十勝試験地



品種名:39T45 是種日:5月14日  
処理日:5月17日(は種3日後、雑草発生前) 調査日:6月14日(処理28日後)

### ■キャベツ

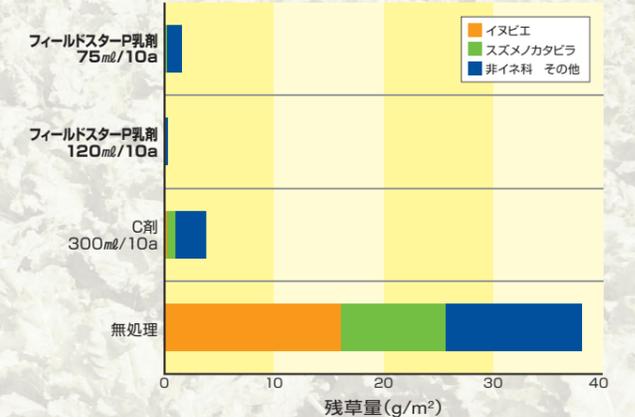
平成12年 北海道北見農業試験場



品種名:アーリーボール 定植日:5月30日  
処理日:6月6日(定植7日後、雑草発生前) 調査日:7月10日(処理34日後)

### ■てんさい

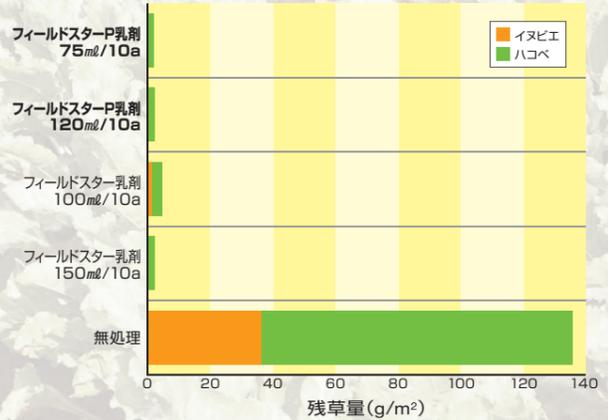
平成19年 北海道十勝農業試験場



品種名:スタウト 移植日:4月27日  
処理日:5月12日(移植15日後、イネ科雑草発生前) 調査日:6月18日(処理37日後)

### ■だいず

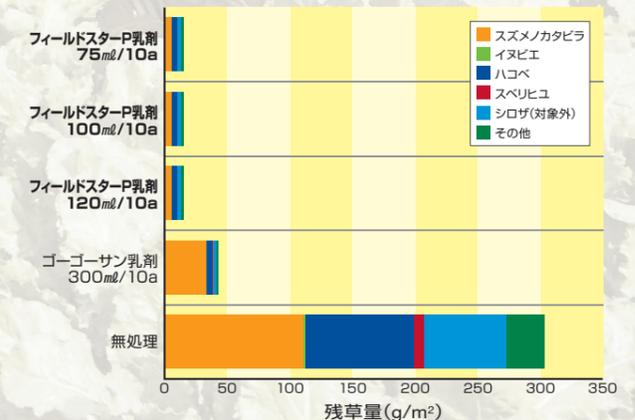
平成12年 植調十勝試験地



品種名:トヨコマチ 是種日:5月19日  
処理日:5月22日(は種3日後、雑草発生前) 調査日:6月29日(処理38日後)

### ■たまねぎ

平成18年 北海道北見農業試験場



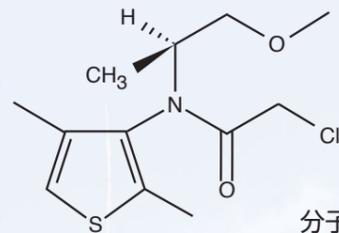
品種名:スーパー北もみじ 定植日:5月11日  
処理日:5月20日(定植9日後、雑草発生前) 調査日:6月28日(処理39日後)

## 有効成分と製品概要

### ■有効成分

一般名：ジメテナミドP

化学名：(S)-2-クロロ-N-(2,4-ジメチル-3-チエニル)-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)アセトアミド



分子量：275.8

### ■製品概要

農林水産省登録：第22777号

商品名：フィールドスターP乳剤

種類名：ジメテナミドP乳剤

有効成分含有率：ジメテナミドP 64.0%

製剤の物理化学的性状：暗褐色可乳化油状液体

有効年限：3年

包装規格：500ml×20本

## 安全性(製剤)

### ■人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

急性経口毒性 LD<sub>50</sub>(ラット)：500~2000mg/kg

急性経皮毒性 LD<sub>50</sub>(ラット)：>5000mg/kg

皮膚刺激性 ウサギ：刺激性あり

眼刺激性 ウサギ：刺激性あり

### ■魚毒性(製剤)：A類相当

コイ LC<sub>50</sub>(96hr)：12.0mg/l

オオミジンコ EC<sub>50</sub>(48hr)：8.85mg/l

緑藻 EbC<sub>50</sub>(0-72hr)：0.128mg/l

## 登録内容

### ■適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地域	ジメテナミドおよびジメテナミドPを含む農薬の使用回数
				薬量	希釈水量				
キャベツ	一年生雑草 (アカザ科・ アブラナ科・ タデ科を除く)	定植後 (雑草発生前) 但し 定植後10日まで	砂土を除く 全土壌	50~ 75ml /10a	100ℓ /10a	1回	全面 土壌 散布	全域	1回
たまねぎ		定植後 (雑草発生前) 但し 定植後30日まで							
えだまめ だいず		は種後発芽前 (雑草発生前)							
とうもろこし		とうもろこし 出芽直前~2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)							
飼料用 とうもろこし	一年生 イネ科雑草	とうもろこし 出芽直前~2葉期 (イネ科雑草2葉期まで)		75~ 120ml /10a					
てんさい	一年生雑草 (アカザ科・ アブラナ科・ タデ科を除く)	定植後または中耕後 雑草発生前 但し 収穫45日前まで			100ℓ /10a			北海道	

### ⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 発芽後の雑草に対しては、効果が劣るので必ず雑草発生前に時期を失しないように散布してください。
- アカザ科、タデ科およびアブラナ科など一部広葉雑草には効果が劣るので、これら広葉雑草の混在する所では、広葉雑草に有効な除草剤との体系で使用してください。
- 散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布してください。
- えだまめ、だいず、飼料用とうもろこしおよびとうもろこしに使用する場合には、碎土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2~3cm以上としてください。
- 散布に当たっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。
- キャベツに使用する場合には、初期生育抑制を生じることがあるので、薬量を厳守してください。
- 本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。

### ⚠ 安全使用上の注意



- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 魚毒性…使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

